

この世界で“たったひとつ”をあなたに

障がい者が独自の世界観を持ち、ユニークな技法でダイナミックに表現する「ともいきアート」に魅せられてみませんか。



第1回かながわともいきアート展 県知事賞「冬の空」ベイさん

※本作品は第2回かながわともいきアート展での展示はありません

詳しくは2・3面でご紹介

県の人口と世帯
(令和7年8月1日現在)

総人口



9,219,618人

男

4,568,084人

女

4,651,533人

前年同月比

↑7,874人減

世帯数

4,443,079世帯

県のたよりホームページ版

<https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>



※総人口には性別不詳を含むため、男女の合計と一致しない場合があります

創造は無限 ともいきアートの世界へようこそ

県は、共生社会の実現に向けて、個性あふれる「ともいきアート」の魅力を多くの皆さんに体感してもらい、応援していただく場として、「ともいきアート展」を昨年度から開催しています。ここでは、第1回展示作品の一部*を紹介します。今年も「ともいきアート展」を11月に開催しますので、ぜひアートの持つ力を感じ取ってください。*第2回展覧会での展示はありません



大賞 「不滅の国」 もえぎ 萌木 さくさん



オーディエンス賞 「猫のパズルコアラ」
ねもと おさむさん



ともいき賞 「元気」 さの ひとみ 佐野 仁美さん

※視線入力装置を使用し、重度障がい児・者支援アプリケーションEyeMot(岩手県立大学および島根大学)で描かれた作品



佐野さん

私の絵をたくさんの人に見てもらえてうれしかったです。これからも楽しくお絵描きをしていきたいです。



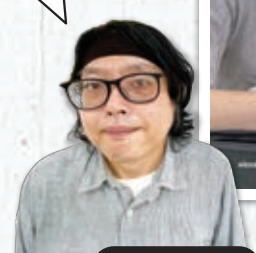
視線入力装置(目の動きを読み取ってパソコン等を操作する装置)と出会い、絵を描くことで自らの可能性を広げている佐野さん。



ほうおう 鳳凰の羽の部分の花は、救いを求める者たちの大地に例えています。生まれ育った神奈川県で大賞をいただき本当にうれしかったです。これからも、たくさんの方に自分の作品を見てもらい幸せになってほしい。そして、大きな個展を開きたいです！



萌木さん



ねもとさん



オーディエンス賞は来場者の皆さまの投票で選出されたので賞に対して非常に重みを感じ、自信になりました。

第1回ともいきアート展について詳しくはこちら



知事メッセージ

県は、障がい者アートを「ともいきアート」としてその魅力の発信に取り組んでいます。

お客様をお迎える私の執務室にはいつも「ともいきアート」が飾ってあります。リース契約していて、3カ月に一度、作品は交換されます。リース料は作者への報酬となります。それぞれの作者の思いが独創的な形で表現されていて、部屋に彩りを与えてくれています。

「ともいきアート」には障がい者へのイメージを大きく変える力があると私は思います。昨年11月、約200点の作品を展示した「ともいきアート展」を横浜赤レンガ倉庫で初開催しました。県内外から10日間で約6,000人もの方々にご来場いただき、「感動した」「元気

になった」など多くの声が寄せられました。

展示作品の中から、私は1面に掲載されているペイさんの作品「冬の空」を神奈川県知事賞に選定しました。宮沢賢治の物語に出てくるような優しい世界観で、心がほっこりするような温かさを感じませんか？

今年も11月1日から9日まで、横浜赤レンガ倉庫で開催します。私のような「ともいきアート」ファンの仲間が輪が広がっていくことを期待しています。

神奈川県知事 黒岩祐治



第2回 かながわともいきアート展 — 生きること、表現すること —

11.1(土)~9(日) 10時30分~20時 // 入場無料 // ディレクター:中津川 浩章

展覧会では、約200点の平面・立体作品が展示され、作品の撮影や会話を楽しみながら、アートを自由に鑑賞することができます。「ともいきアート」の魅力に触れられるさまざまなイベントが行われますので、ぜひお越しください。

ワークショップ・グッズ販売

- ワークショップ ★ 似顔絵コーナー
★ 陶器アクセサリづくり など
※一部有料コーナーあり
- グッズ販売 ★ ともいきアートをモチーフにしたグッズ



似顔絵コーナーの様子

ともいきアート鑑賞会

11月9日(日) 全2回

要事前申込 (応募多数の場合は抽選)
全盲の美術鑑賞者である白鳥建二さんと一緒に楽しめる対話型鑑賞会です。



白鳥建二さん(中央)による鑑賞会の様子

「みんなのパルタ」 秀樹さん

この他多数作品展示あり！

場 所 横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース 所在地 横浜市中区新港1-1-1
交 通 JR・市営地下鉄 関内駅から徒歩15分／みなとみらい線 馬車道駅から徒歩6分
問合せ かながわともいきアート展事務局 ☎045(620)0131 ※ご来場にあたりお手伝いが必要な場合は、事務局へお気軽にご連絡ください

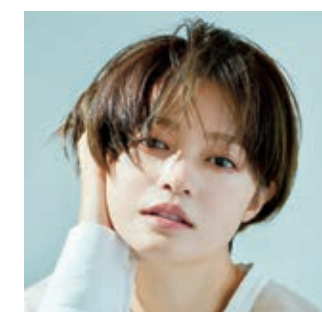
Check 詳しくはこちら



vol.72 ともいきバトン 今月は、株式会社AGRIKO 代表取締役・俳優の小林 涼子さんに伺いました！

違いを知り、認め合い ともに生きやすい社会へ！

AGRIKO FARMでは、約20名の障がいのある方々と地域の女性たちが、苗植えや出荷などの農作業を行いながら、植物をテーマにパッケージ用の絵を描いています。世話をした作物への愛情が絵ににもじみ出て、とても味わい深い作品となっています。農作業の手際の良さはもちろん、描かれる絵の美しさや独特の視点にはいつも驚かされ、人の持つ力や可能性について深く考えさせられます。「かながわともいきアート展」には第1回から関わり、今年の第2回アート展でも審査員をさせていただきます。このアート展が、まだ見ぬ才能が芽吹き、根付くための「土」のような存在になればと願っています。たくさん作品に出会えることを心待ちにしております。



小林 涼子さん

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

株式会社AGRIKOについて詳しくはこちら



【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 ☎045(210)8854

ともに生きる

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら



こあじろ
「小網代の湿原」

写真：横浜市・マユミーヌさん

秋に小網代の森へ行き、散策路を歩きました。デッキは広くて歩きやすく、森から海への生態系のグラデーションが楽しめます。

- ▶ 場所：小網代の森（三浦市）
- ▶ 撮影：令和6年11月



編集／発行（毎月1日発行）
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111（代表）
☎045(210)3662 ㊟045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は9月16日時点の内容であり、変更になる場合があります

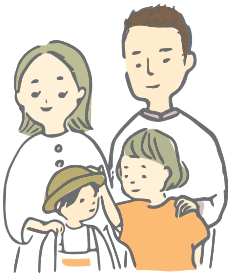
10月は
里親月間

変わるのは子どもたちの未来 里親になって共に歩もう

＼ Q & A ／

Q. 私でも里親になれるのか？

A. 研修の修了や経済困窮していないことなど、**一定の要件を満たせば誰でもなることができます。**また、**共働きや実子がいる**ご家庭などでも里親になることができます。



Q. 子どもを迎え入れる期間はどのくらいですか？

A. 児童が18歳になるまで長期間で受け入れることもあれば、週末や夏休みなどの短期間だけ受け入れる「**3日里親**」など期間はさまざまです。

Q. 養子との違いは何ですか？

A. 養子縁組は法的に親子関係となりますが、里親制度は**法的な親子関係は結ばず一定期間子どもを養育する制度**です。

Q. 支援団体や行政のサポートは受けられますか？

A. 児童相談所や先輩の里親の他、里親センターひこばえや里親会などが**里親になった方のサポート**をしてくれます。また、必要な費用は国や県が定めた金額が支給されるので、**金銭面でのサポート**も充実しています。

＼ 里親制度とは ／

さまざまな事情から家庭で暮らせなくなった子どもを、一定期間、自分の家庭に迎え入れて、温かな愛情をもって養育し、育ちを支えるための制度です。里親として活動することはもちろん、里親家庭を温かく見守ることも、里親や子どもたちにとって大きな支えになります。

詳しくは
こちら



里親経験者からのコメント

戦争がなく、平和な世界だから里親ができる。大好きな人と一緒にいて、毎日、お腹が空いたらご飯が食べられ、ゆっくりと寝られる。大きくなって、「私が生まれてきて良かった」という実感を持ってもらえる里親になれば良いなあと思います。



●里親センターひこばえ

里親同士の交流の場として活動している他、里親に関する知識や相談先などの情報提供、養子縁組に関する相談にも応じています。

☎046(205)6092 月・水・金・土 10～16時



詳しくは
こちら



●児童相談所

お住まいの地区を担当している児童相談所にご相談ください。

詳しくは
こちら



【上記記事に関する問合せ】 県子ども家庭課 ☎045(210)4655 ㊟045(210)8868

地域にゆかりのある伝統文化を現代に再生 カナガワ リ・古典プロジェクト in 横須賀



チャッキラコ(三浦市)

カナガワリ・古典プロジェクトは、地域ゆかりの伝統文化を新しい発想で活用し、再(Re・リ)発信する取り組みです。ユネスコ無形文化遺産である「チャッキラコ」など、**今年は三浦半島のさまざまな暮らしにスポットを当てています。**

12.6(土) 14時～17時30分
横須賀市文化会館大ホール



●交通 京急 横須賀中央駅から徒歩10分
JR横須賀駅からバスで「文化会館前」下車徒歩3分

●演目 とらおど 虎踊り(横須賀市)、チャッキラコ(三浦市)、
あめやおど 飴屋踊り(横須賀市、三浦市、千葉県)など

●申込期間 (1次)10月1日(水)～31日(金)

※応募多数の場合は抽選、2次募集もあり
※その他ワークショップあり、要申込み

詳しくは
こちら



かながわ県民文化祭

リ・古典プロジェクトは「かながわ県民文化祭」のプログラムの一つです。他にも12月まで県内各地で多彩なプログラムが行われます。プレゼントキャンペーンも行いますので、ぜひご参加ください。

詳しくは
こちら



【上記記事に関する問合せ】 リ・古典プロジェクトについては県文化課 ☎045(210)3806 ㊟045(210)8870
県民文化祭については県文化課 ☎045(210)3808 ㊟045(210)8870



10月17日～23日は「薬と健康の週間」です

【問合せ】 県薬務課 ☎045(210)4967

かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局・認定薬局を活用し、薬を正しく使いましょう。
今使っているお薬の相談はかかりつけ薬剤師へ。